

[公益5] 大学教職員の職能開発及び大学教員の表彰

5-1 情報通信技術を活用した優れた授業研究の評価と表彰

<事業計画>

ICTを活用した教育力の向上を図るため、文部科学省の後援を受けて全国の大学・短期大学を対象に「ICT利用による教育改善研究発表会」を継続実施する。教育の質的向上に効果的なICTの活用研究を選考・表彰し、インターネットによる公表を通じて教育改善の研究を啓蒙・普及する。

<事業の実施状況>

事業の実施は「ICT利用教育改善発表会運営委員会」を継続設置してICT利用による教育改善研究発表会を開催し、優れた教育方法を選定・評価・表彰した。以下に、委員会の活動状況を報告する。

ICT利用教育改善発表会運営委員会

5月7日、11月12日に平均8名が出席して2回開催し、ICT利用による教育改善研究発表会における発表募集要項の作成、1次選考、2次選考の運営、本協会Webサイトによる公表を行った。

(1) 発表者の募集

発表募集要項に大学教育の質的転換を踏まえた取り組みも反映できるよう、アクティブラーニングによる教育方法の改善、学修成果の測定と可視化などによるICT利用を明示するとともに、募集タイトルに「教育の質的転換を目指すICT利用」を掲げ、教育改革につながる発表となるよう募集を行った。

(2) 研究発表の選考

- ① 運営委員会で40件の応募について書類選考を行い、39件の発表を確定したが、後日2件辞退があり最終的な研究発表は37件となった。
- ② 1次選考は、8月9日（火）に東京理科大学で発表者と参加者185名で開催し、選考規程に基づき、選考委員が分担して発表内容及び発表会論文を精査し、以下の基準で選考した。
 - * 教育上の問題解決を図るために、ICTを利用した教育改善の目的・目標が明確に示されていること。
 - * ICTを利用した教育改善の内容と方法が明確に示されていること。
 - * 客観的な評価方法により、教育改善の効果が明確に示されていること。その結果、5件を選考した。詳細は、平成28年度事業報告の附属明細書【2-8】を参照されたい。
- ③ 2次選考は、9月24日（土）に実施し、選考委員全員で1次選考の発表を収録したビデオ及び発表会論文を精査し、授賞の基準に基づき実施した結果、以下の通り、奨励賞1件の授賞を決定した。

平成28年度受賞者

★奨励賞（1件）

「ICT活用による能動的学修支援と学修成果の可視化を融合させた教育改善の実践」

北海道医療大学薬学部
北海道医療大学心理科学部

二瓶 裕之
西牧 可織

[授賞理由]

本研究は、能動的学修を全学的推進するために、電子シラバスを開発して毎回授業の到達目標や事前・事後の学修課題及び資料など学修情報を一括提示し、ICTを活用して学生の学修行動をモニタリングして学修成果を多角的に可視化、フィードバックすることで学生・教員に振り返りが可能となり、反転授業と協働学修を組み合わせた学修成果の改善、知識修得に向けた主体性の育成につながる教育改善が見られた。

（3）選考結果の表彰

表彰は、11月25日の第17回臨時総会で発表者を招待し、実施した。

（4）授賞論文の公表

平成27年度まで2次選考の対象論文について査読を行い、論文誌「ICT活用教育方法研究」を発行してきたが、研究発表内容の向上・進展に顕著な効果が見られないことから、平成28年度発行を取りやめ、優れた授賞論文に限定して本協会のWebサイトで公表することにした。